

平成22年10月1日から平成23年3月31日までの市の財政状況

平成22年度下半期の各会計の状況を公表しましたので、お知らせします。
 なお、一年間の決算は、議会で認定された後に公表します。

平成22年度予算の執行状況

一般会計（平成22年10月1日から平成23年3月31日までの収支状況）

歳入		歳出	
区 分	収入済額 (千円)	区 分	支出済額 (千円)
市 税	1,400,484	議 会 費	87,665
地方贈与税ほか	348,429	総 務 費	965,337
地方交付税	2,979,289	民 生 費	1,739,808
分担金及び負担金	83,463	衛 生 費	862,754
使用料及び手数料	177,456	労 働 費	25,054
国庫支出金	1,055,387	農 林 費	530,354
県支出金	446,949	商 工 費	87,873
繰越金ほか	174,620	土 木 費	594,442
市 債	1,349,900	消 防 費	241,600
歳 入 合 計	8,015,977	教 育 費	1,075,287
		災 害 復 旧 費	1,445,305
		公 債 費	1,261,017
		予 備 費	0
		歳 出 合 計	8,916,496

特別会計（平成22年10月1日から平成23年3月31日までの収支状況）

会 計 名	歳入 収入済額(千円)	歳出 支出済額(千円)
国民健康保険事業特別会計	1,635,333	1,707,055
観光事業特別会計	245,412	398,792
環境衛生事業特別会計	6,016	12,385
住宅資金貸付事業特別会計	932	549
老人保健医療事業特別会計	15	1,955
農業集落排水事業特別会計	22,467	106,137
介護保険事業特別会計	1,075,806	1,374,700
簡易水道事業特別会計	241,195	139,339
後期高齢者医療事業特別会計	242,296	215,511

財産の現在高

（平成23年3月31日時点）

土地 (地積)	建物 (延面積)	基金
千㎡	千㎡	千円
51,169	265	3,818,434

市債の現在高

（平成23年3月31日時点）

一般会計	特別会計
千円	千円
17,399,168	2,946,493

一時借入金の現在高

（平成23年3月31日時点）

一時借入金
ありません

水道事業会計

1 事業の概要

平成22年度下半期における配水量は1,258千 m^3 (上水道 989千 m^3 、簡易水道 269千 m^3)となりました。また、1日平均配水量は6,912 m^3 となり、有収水量については927千 m^3 (上水道 721千 m^3 、簡易水道 206千 m^3)となりました。

2 経理の状況

(単位:千円)

ア 損益計算書(平成22年10月1日から平成23年3月31日までの収支状況)

1 上水道営業収益	94,814	5 上水道営業外収益	43,735
2 簡易水道営業収益	27,597	6 簡易水道営業外収益	82,632
3 上水道営業費用	126,491	7 上水道営業外費用	19,962
4 簡易水道営業費用	56,701	8 簡易水道営業外費用	5,072
営業損失	60,781	営業外利益	101,333
		9 特別利益	6,316
		10 特別損失	2,468

当期(平成22年10月1日から平成23年3月31日まで)純利益 44,400

イ 貸借対照表(平成23年3月31日時点)

資産の部		負債の部		資本の部	
1 固定資産	3,610,923	3 固定負債	18,362	5 資本金	1,914,707
2 流動資産	565,410	4 流動負債	128,659	6 剰余金	2,114,605
資産合計	4,176,333	負債合計	147,021	資本合計	4,029,312
				負債資本合計	4,176,333

【平成23年3月31日現在企業債残高 1,850,375千円】

病院等事業会計

1 事業の概要

平成22年度下半期の病院における患者数は、入院40,428人、外来48,106人となりました。介護老人保健施設における利用者は入所11,980人、通所1,842人となり、訪問看護における利用者数は2,234人となりました。施設別の患者数等の内訳は以下のとおりです。

(単位:人、千円)

	病 院 事 業			介護老人保健施設事業 (グリーンヒル美祢)	訪問看護事業
	美祢市立病院	美祢市立美東病院	計		
入院患者・入所者	24,193	16,235	40,428	11,980	—
外来・通所・利用者	26,400	21,706	48,106	1,842	2,234
総 収 益	1,143,540	567,869	1,711,409	163,873	19,161
総 費 用	1,119,081	749,195	1,868,276	168,663	20,274
特 別 損 失	11,070	4,264	15,334	675	7
純 利 益	13,389	▲ 185,590	▲ 172,201	▲ 5,465	▲ 1,120

2 経理の状況

(単位:千円)

ア 損益計算書(平成22年10月1日から平成23年3月31日までの収支状況)

1 事業収益	1,789,301	3 事業外収益	105,142
2 事業費用	1,955,260	4 事業外費用	101,953
事業損失	165,959	事業外利益	3,189
		5 特別損失	16,016

当期(平成22年10月1日から平成23年3月31日まで)純損失 178,786

イ 貸借対照表(平成23年3月31日時点)

資産の部		負債の部		資本の部	
1 固定資産	5,573,790	4 固定負債	48,702	6 資本金	4,766,332
2 流動資産	1,168,911	5 流動負債	343,637	7 剰余金	1,667,041
3 繰延勘定	83,011	負債合計	392,339	資本合計	6,433,373
資産合計	6,825,712			負債資本合計	6,825,712

【平成23年3月31日現在企業債残高 4,164,645千円】

公共下水道事業会計

1 事業の概要

平成22年度下半期における下水道使用戸数は3,680戸、有収水量は483千 m^3 (1日平均2,652 m^3)となりました。また、処理水量は560千 m^3 (1日平均3,078 m^3)となりました。

2 経理の状況

(単位:千円)

ア 損益計算書(平成22年10月1日から平成23年3月31日までの収支状況)

1 営業収益	79,967	3 営業外収益	151,058
2 営業費用	164,951	4 営業外費用	67,952
営業損失	84,984	営業外利益	83,106
当期(平成22年10月1日から平成23年3月31日まで)純損失			1,878

イ 貸借対照表(平成23年3月31日時点)

資産の部		負債の部		資本の部	
1 固定資産	14,365,133	3 固定負債	13,235	5 資本金	5,597,239
2 流動資産	143,099	4 流動負債	26,922	6 剰余金	8,870,836
資産合計	14,508,232	負債合計	40,157	資本合計	14,468,075
				負債資本合計	14,508,232

【平成23年3月31日現在企業債残高 4,768,277千円】

美祢市土地開発公社の経営状況

1 事業の概要

土地開発公社は、良質で低廉な宅地の供給を目的としており、人口定住対策の一環として分譲用地の販売促進を行っています。

平成22年度下半期の事業内容として、住宅用地4区画(美祢 4)を総額21,630千円で売却しています。

分譲概要(平成23年3月31日現在)

	計画区画 a	分譲区画	契約区画 b	契約率 b/a
一般住宅	938	800	589	62.8%
美祢住宅団地(来福台)	886	748	548	61.9%
旦住宅団地(りんどうの丘)	34	34	30	88.2%
長田住宅団地	15	15	9	60.0%
湯の口住宅団地	3	3	2	66.7%
集合住宅	96	96	96	100.0%
美祢住宅団地(来福台)	96	96	96	100.0%
計	1,034	896	685	66.2%

2 経理の状況

(単位:千円)

ア 損益計算書(平成22年10月1日から平成23年3月31日までの収支状況)

1 事業収益	21,630	4 事業外収益	20,054
2 事業原価	21,630	5 事業外費用	22,492
3 販売費及び一般管理費	4,791	事業外損失	2,438
事業損失	4,791	当期(平成22年10月1日から平成23年3月31日まで)純損失	7,229

イ 貸借対照表(平成23年3月31日時点)

資産の部		負債の部		資本の部	
1 固定資産	57	3 固定負債	2,321,320	5 資本金	10,000
2 流動資産	1,921,237	4 流動負債	35	6 欠損金	410,061
資産合計	1,921,294	負債合計	2,321,355	資本合計	▲ 400,061
				負債資本合計	1,921,294

美祿観光開発株式会社の経営状況

1 事業の概要

平成22年度は、昨年度にも増して景気が低迷したことや、夏の大水害、冬の記録的な寒波、そして震災による世の中の自粛ムードなどにより、利用者の足も鈍り、売上が伸びませんでした。また、温泉においても燃料となる灯油が高騰したことから、下半期は純損失が出ています。

しかしながら、平成22年度通年では、このような状況下ではありましたが、従業員一人一人が意識改革に努め、徹底した経費削減、また積極的な出張販売及び注文販売などを実施したことなどにより、僅かではありますが純利益を計上することができる見込みです。

2 経理の状況

(単位:千円)

ア 損益計算書(平成22年10月1日から平成23年3月31日までの収支状況)

1 売上高	91,678	3 販売費及び一般管理費	44,622
2 売上原価	49,924	4 営業外収益	1,393
売上総利益	41,754	5 営業外費用	196
		営業費用等損失	43,425
		6 特別損失	3
		法人税等	168
		当期(平成22年10月1日から平成23年3月31日まで)純損失	1,842

イ 貸借対照表(平成23年3月31日時点)

資産の部		負債の部		純資産の部	
1 流動資産	50,700	4 流動負債	16,890	5 資本金	30,000
2 固定資産	2,000	5 固定負債	20,000	6 利益剰余金	▲ 14,190
資産合計	52,700	負債合計	36,890	純資産合計	15,810
				負債純資産合計	52,700

美祿農林開発株式会社の経営状況

1 事業の概要

美祿農林開発株式会社では、森林保全や社会貢献などを目的に美祿社会復帰促進センターの刑務作業を活用した竹割箸の製造事業、並びに大嶺町奥分にある美祿市農林資源活用施設を活用した竹の子の水煮等の製造事業を行っています。

本格稼働後3年目となる竹割箸の製造事業については、質も安定し、僅かではありますが売上増を図ることができましたが、販路については大幅な拡大が行えておらず、課題も残っています。

また、2年目に当たる竹の子水煮等製造事業については、主とする竹の子水煮が昨年度の3倍強となる10トン程度の商品づくりを行うことができ、販売に関しても、斗缶やパック販売で市内外の事業所やスーパー等で取扱いをしていただき、売上を伸ばすことができました。

その他竹細工等製造事業についても、竹割箸製造時に排出される端材などを活用した正月用商品や、竹炭商品など、販売数量は僅かですが、好評を博すことができました。

このことから、平成22年度通年でも、純利益を計上することができる見込みです。

2 経理の状況

(単位:千円)

ア 損益計算書(平成22年10月1日から平成23年3月31日までの収支状況)

1 売上高	5,239	3 販売費及び一般管理費	3,099
2 売上原価	12,764	4 営業外収益	12,027
売上損失	7,525	5 営業外費用	1,195
		営業費用等収益	7,733
		法人税等	1
		当期(平成22年10月1日から平成23年3月31日まで)純利益	207

イ 貸借対照表(平成23年3月31日時点)

資産の部		負債の部		純資産の部	
1 流動資産	16,533	3 流動負債	2,928	4 資本金	20,000
2 固定資産	3,728			5 利益剰余金	▲ 2,667
資産合計	20,261	負債合計	2,928	純資産合計	17,333
				負債純資産合計	20,261